

	月		火		水		木		金		
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	
総合診療	2診	総合診療 廣西	糖尿外来 河井		総合診療 廣西		総合診療・センター長 (認知症センター) 廣西		総合診療(循環器) 羽野		
	3診	糖尿外来 河井		呼吸器 中西(正)	総合診療(循環器) 羽野	泌尿器外来 稲垣(武) (2-4週)	肝臓 佐藤				
	4診		皮膚科 (奇数週) 神人 (偶数週) 鎗山		脳神経内科 中西(-)	脳神経内科 中西(-)		リウマチ膠原病 応援医師 (第2週)		放射線科 中井	
	新患5診	堀		伊藤		応援医師		河井		堀	
	外科診							櫻井 【第3週を除く】			
脊椎ケアセンター	6診	大岩	認知症センター 大岩		上野 【第1週】	大岩		大岩		大岩	
	7診	整形外科 延興		整形外科 中川	足の専門外来 浅井	骨粗鬆症外来 寺口		整形外科 延興		整形外科 中川	
	8診	整形外科 米良(好)		整形外科 寺口		整形外科 北山		整形外科 米良(好)		整形外科 北山	
眼科	白井 (しらい)	佐々木 【奇数週】	白井 【偶数週】	白井 (しらい)	雑賀 岡田 【奇数週】 小門 【偶数週】	佐々木	子ども外来 白井	高田	白井 (うすい)	佐々木	術前外来
	高田			黄斑外来 (白井うすい)	佐々木	白井 (うすい)					
小児科	青柳		樋口		青柳		青柳		青柳		
リハビリテーション科	隅谷		隅谷		隅谷		隅谷		隅谷		
	坂田		坂田		坂田		坂田		坂田		
認知症疾患医療センター		大岩				廣西	廣西		中西(-)		

診察受付/月曜~金曜:午前8時45分~11時30分 ※第1週の水曜日午後は、加藤医師が救急対応 令和2年10月1日現在



あじさい



vol.34
2020.秋号

骨粗鬆症をみんなで治そう。

— 骨粗鬆症リエゾンサービス委員会の立ち上げについて —

骨粗鬆症(こつそしょうしょう)は“骨の強度が低下し、骨折のリスクが増大しやすくなる病気”であります。特に閉経後の女性の方が多くみられ、気付かない内に背骨の骨折を起こし腰曲がりや慢性的な腰痛の原因となってしまいます。さらに一度骨折を生じると連鎖的に骨折を生じるようになり寝たきりになるなど、生活の質を著しく低下させます。そのため、骨粗鬆症は早期に診断し治療を開始する必要があります。しかし、骨粗鬆症それ自体は症状が無く、治療中の患者さんは、「なぜこのような治療を続けていかなければならないのか」と思われる方が多く、治療の継続率は1年間で約半数となってしまふといった報告があります。



「骨のお薬手帳カバー」お引き渡しの様子

当院の整形外科・脊椎ケアセンターではこの連鎖骨折を防ぐために、骨粗鬆症を系統立てて治療を行うコーディネーターとして、「骨粗鬆症リエゾンサービス委員会」を2020年5月に立ち上げました。



多職種でチームを組んで院内だけでなく地域のかかりつけ医師、歯科医師、そして薬局とも連携を取り骨粗鬆症の治療率の向上・継続率の改善を目指しております。また、啓蒙活動の一環として健康講座の開催や患者さん・家族さんに寄り添った治療方法の提案をしており、県内でもモデルケースとして取り上げられてきております。特に当院の骨粗鬆症外来を受診された方には“かわいい骨のお薬手帳カバー”を差し上げております。このカバーはかかりつけの先生と薬局、そしてわれわれが骨粗鬆症の治療を通じて連携を取り、骨粗鬆症の治療薬の重複を無くし、さらに治療の継続率を改善させることが目的です。また長期で骨粗鬆症治療を頑張っておられる方には“VIP骨のお薬手帳カバー”も差し上げます。是非、この機会に骨密度検査を受けられることや、骨粗鬆症についてかかりつけの先生もしくは当院骨粗鬆症外来を受診されることを検討されてはいかがでしょうか。

整形外科・脊椎ケアセンター 講師 寺口 真年

「かるて師匠の健康高座」

分院長・内科教授 廣西昌也

紀子ちゃんの学校でも仲のいい同級生が新型コロナにかかってしまったようです。

可流亭: クラスメートはもう学校に来てるの?

紀子: ええ、入院したのはほんの十日ぐらいで、肺炎もなかったし、念のために行ったPCR検査もすぐ陰性になったみたいです。そのあと観察期間というのがあって保健所の人が健康状態をチェックしてくれて、何もなかったので学校に出てきたんだけど...

可流亭: 何か問題があったの?

紀子: そうなんです。みんなちょっと彼女のそばに寄るのを怖がるというか...。そしてやんちゃな男子が「コロナに感染するから学校に出てくるな」みたいなことを言ってしまって、泣いて帰ってしまってから学校に出てきてないんです。

可流亭: うーん。それは困った問題だね。確かに病気になるのはみんな嫌だし、自分を守る権利はあるんだけど、根拠なく相手を遠ざけるのは絶対にやっではないかと思うよ。

紀子: そうですね。でも、恥ずかしいんですけど、私もそばに寄っていいのかなという迷いがあって、彼女を守ってあげられなかったなと思っています。

可流亭: 新型コロナウイルスは、症状が出始める前後に人に感染させる力が最大で、その後は十日ぐらいで感染力はなくなっていくことがわかっているんだ。だからたとえ新型コロナに感染した人でも、基準を満たして退院した人から感染することはないし、むしろきちんとチェックしたあとだから安全とさえいえるんだよ。コロナ患者さんが出ている地域に無防備に遊びに行った人のほうがよほど危ない。

紀子: 新型コロナは私自身を含めて、人間の嫌なところをあばいてしまうのかもしれないね。

可流亭: 学生さんだけではなくて、仕事をしている大人でも、コロナにかかったあとと理不尽な扱いを受けてしまうことがあるかもしれないけど、不条理な差別を受けることがないようにしたいよね。

紀子: 不完全でもいいから相手の立場になってみられるというのは人間の凄いなと思うんです。でもそうなれないことも多くて悲しいですね。会ってくれるかどうかかわからないけど、これから彼女の家に行って気持ちを伝えたいと思います。



【お知らせ】

・令和2年10月より、放射線科に中井資貴准教授、内科に伊藤大策助教・堀昂平学内助教、リハビリテーション科に坂田ゆき学内助教が着任しました。

・令和2年10月より、内科の東裏将己助教・奥田有香学内助教・横山真央学内助教、リハビリテーション科の風呂谷容平学内助教が和歌山県立医科大学本院勤務になりました。

・次回の紀北分院通信「あじさい」冬号は1月発行です。

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 分院長 廣西昌也

〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219 TEL0736-22-0066(代) FAX0736-22-2579

ホームページアドレス <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/bun-in/index.html>

2020年10月発行



紀北分院が、和歌山県看護協会の「カンゴサウルス賞」を受賞しました。

この賞は、看護職のワーク・ライフ・バランスの改善について継続した取り組みを行い、多大な貢献があったことを表すものです。

紀北分院では、今後も看護職のワーク・ライフ・バランスの改善・向上に一丸となって取り組みます。



【掲載内容】

- ・骨粗鬆症をみんなで治そう
- ・カンゴサウルス賞 受賞
- ・着任のご挨拶
- ・足の専門外来 紹介
- ・新任ドクターの紹介
- ・外来診療医担当表
- ・かるて師匠の健康高座



■ 着任の御挨拶



眼科 准教授
白井 久美

1994年に和歌山県立医科大学を卒業し、その後は附属病院に眼科医として勤務してまいりました。このたび2020年7月に和歌山県立医科大学附属病院紀北分院に着任し、眼科の一般外来および特殊外来である子ども外来を担当しております。

眼科専門領域は斜視・弱視や小児眼科です。斜視というのは目の位置のずれで、弱視というのは視力の発達が悪いことです。子どもの視力の発達は就学時まで、特に3歳までが非常に重要な時期です。そのため3歳時検診や就学時検診で問題がないか確認し、眼科受診を要すかの判断がなされます。検診で異常なしの結果であっても、目の症状は日によって変化することもありますので、ご家族の方から見て気になることがあれば、迷わず眼科を受診していただくことをお勧めします。目の位置や目の動き、まぶたの状態が気になる場合は写真撮影して、受診時に提示していただければわかりやすいです。今はスマートフォンでいつでも簡単に写真や録画の撮影ができますので、われわれ眼科医は、ご家族からの写真での情報提供に大変助けられています。また、大人で斜視が生じてきた場合は、“物が2つにだぶって見える”という症状が出る場合があります。この場合、目の病気のみならず、体の病気が原因で生じていることもあります。そのため眼科検査だけではなく、いろいろな検査が必要です。

今後は和歌山県紀北地域の眼科一般診療および小児眼科診療の充実を目標に努力していきたいと考えます。どうぞよろしくお願い致します。

■ 着任の御挨拶



整形外科・脊椎ケアセンター
講師
延與 良夫

令和2年7月1日から和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院 整形外科・脊椎ケアセンターに勤務させていただくことになりました延與 良夫(えんよ よしお)と申します。

私の専門は脊椎脊髄疾患であり、特に多い脊椎圧迫骨折(せきついあっぱくこっせつ)、腰部脊柱管狭窄症(ようぶせきちゅうかんきょうさくしょう)について御説明いたします。

脊椎圧迫骨折は骨粗鬆症に伴って生じることが多く、70歳以上の女性の方は要注意です。転倒などの外傷で生じることがありますが、気付かないうちに骨折が生じることもあります(いつのまにか骨折)。多くの方は装具療法による保存治療で骨がくっつきませんが、きちんと治療しないと骨がくっつかないままの状態(偽関節)となり、下肢麻痺や排尿排便障害が生じたり、慢性的な腰痛の原因となったりしますので、そうなる前に治療する必要があります。疼痛が長期間継続することも多いので最近ではBKP(Balloon Kyphoplasty、折れた背骨をバルーンで膨らまして、その中にセメントを入れて固める方法)を当院では施行しています。全身麻酔で出血はほとんどなく、傷も小さく手術時間は30分程度で即時除痛効果があり、術後2~3日で退院可能です。

腰部脊柱管狭窄症は、腰痛、下肢痛、しびれが生じる60歳以上の方に多い加齢性疾患です。腰部の脊柱管の中にある神経が骨、軟骨、靭帯により圧迫され症状が生じます。歩行すると下肢の痛みやしびれが生じ、歩行できず、ひどい人は5mも歩行できません。しゃがんで一休みするとまた歩行できますがすぐに歩行できなくなります。このような症状があれば腰部脊柱管狭窄症の可能性がります。また症状が増悪してくれば排尿排便障害がみられることもあります。投薬やブロック注射で症状が軽快することもあります。効果がなければ速やかに手術加療が必要です。脊椎内視鏡下手術を当院では取り入れており、体への負担が少なく術後1週間程度で退院が可能です。

私の出身地は紀の川市であり、高校生のときまで住んでおりました。10年前に旧病院であったころ、一年間当院にて勤務させていただきました。この度なつかしい地元へ再び帰ってきたという思いがあり、地に足をつけて地域住民の方に信頼されるようがんばりたいと思っております。脊椎脊髄疾患だけでなくその他の整形外科疾患(外傷、膝関節、股関節、肩関節、手、足など)でお困りの方も一度紀北分院 整形外科まで御来院いただければと思います。今後ともどうかよろしくお願い致します。

私の出身地は紀の川市であり、高校生のときまで住んでおりました。10年前に旧病院であったころ、一年間当院にて勤務させていただきました。この度なつかしい地元へ再び帰ってきたという思いがあり、地に足をつけて地域住民の方に信頼されるようがんばりたいと思っております。脊椎脊髄疾患だけでなくその他の整形外科疾患(外傷、膝関節、股関節、肩関節、手、足など)でお困りの方も一度紀北分院 整形外科まで御来院いただければと思います。今後ともどうかよろしくお願い致します。

■ 足の専門外来の御紹介



整形外科
浅井 宣樹

空の雲も高くなり、秋の虫の声が聞こえる美しい季節が参りました。

令和2年9月より、当院の整形外科医として非常勤で火曜日の午後に「足の専門外来」をさせて頂くこととなりました 浅井 宣樹(あさい よしき)です。ここに紙面を借りて御挨拶させていただきます。和歌山市で生まれ育ち、大学は和歌山県立医科大学に入学いたしました。平成18年に大学を卒業して医師となり、2年の研修医期間の後に整形外科教室に入局しました。私の今までの経歴といたしましては、骨折などの一般整形外科に加え、手の領域の治療を行ってまいりました。それから和歌山県には足の治療をする医師が少ないこともあり、足の手術で有名な奈良県立医科大学の整形外科に1年間国内留学させていただき、現在は主に足の治療をしています。普段は和歌山市の愛徳医療福祉センターにて診療をしています。どちらも地域医療としての課題は多く、果たすべき役割は大きいと身が引き締まる思いであります。

整形外科に入局してからは和歌山県内のいくつかの病院(橋本市民病院や新宮市立医療センター、ひだか病院など)で勤務をしてきましたが、紀北分院での勤務は今回が初めてとなります。

足の専門外来では、歩行時の足の痛みやしびれ、足趾(足の指)の変形などが主な訴えとなりますが、そのほかでも何か足の健康に関して相談などがございましたら気軽に受診していただければ幸いです。外反母趾や変形性足関節症、捻挫などをはじめ、様々な足の疾患がありますが、手術だけでなく投薬、装具療法、注射、日常における指導などもさせていただきます。

まだまだ新型コロナウイルスの世界における影響も強く、予断の許さない状況が続きますが、紀北地域の医療に貢献できますよう頑張りたいと存じますので、皆様よろしくお願い致します。

新任ドクター紹介



准教授
放射線科
中井 資貴



助 教
内 科
伊藤 大策



学内助教
内 科
堀 昂平



学内助教
リハビリテーション科
坂田 ゆき

よろしくお願ひします。